



この思い伝える術なくせめてもと

恋文を書く心の中で

バレンタイン近づく週末図書室で

たとえばちよとスキップしてみる

放課後に「寄ってく?キナル」「部活行く!」

両方オツケー青春万歳!

2月14日を前に、心がキュンキュンする短歌を紹介します。この短歌三首、あえて作者名は伏せておきます。子どもか大人かも伏せておきます。皆様のご想像で、この世界を味わってみてください。



大雪警報の日に・・・～3人のHERO～

警備員さん、電気工事士さん、工事車両運転手さんの3人のお話です。

2月8日(日)を覚えていらっしゃいますか。前日からJPCZが山陰にかり、想定以上の大雪になった、あの日です。携帯が鳴ったのは朝の5時すぎ。「停電なので警備を再確認ください。」という内容でしたので、ホワイトアウトの中、急いで学校に向かいました。真っ暗の中、校長の到着を待っておられたのは警備員さん。「何か支障があるといけないので・・・」と、1時間近く寒い廊下で待機しておられました。

しかし、ブレーカーを再設定しましたが通電しなかったため、専門の業者に依頼しました。30分ほど経過した頃、「電力が大きいので復旧に時間がかかりましたが、ただ今復旧しました!!」頭に電灯のついたヘルメット姿で全身雪におおわれた電気工事士さんは笑顔で伝えてくださいました。時計を見ると、朝6時すぎ。その後ブルドーザーに乗った建設業者の運転手さんにお世話になり、通学道路を整備していただきました。私にとっては**3人とも真のヒーロー**です。・・・プロ三人衆の皆様、大変お世話になりました!!



大人の瞳に・・・～地区公民館の思い出～

少年時代は、米子市福生地区に住んでいました。放課後は毎日のように地区公民館に行き、様々な学年の子らと遊んだり(喧嘩したり)、学習したりした思い出があります。将棋のルールや卓球、書道は、大人たちから教わりました。季節ごとの調理実習も楽しく、ちらしずしやマドレーヌ?も作った記憶があります。お寿司にファンタオレンジは合わないと悟ったのもこのころ。さらに、凧作りや正月飾りにも挑戦させてもらえました。「完成した凧に好きな絵を描きなさいね。」と言われ、当時のTVヒーロー「ライダーマン」を描いた記憶が蘇ります。

土日は、境港市にタコ釣りに連れて行ってもらったり、泊りのキャンプも経験しました。こうして社会教育の中で育てられ、遊んでいたことが、今の自分のアイデンティティのものになったと思います。

図書室には古典文芸から歴史書、絵本、趣味の雑誌に至るまで魅力的な文献がありました。当時、公民館の読み聞かせで知った本の一つに『シナの五人きょうだい(クレール・H・ビショップ文/瑞雲舎)』という絵本があります。人生で思い出の本を一冊あげると言われたらこれを選ぶかもしれないほど印象に残るおはなしで、今も大切に保管しています。(校長室前) 今思えば、当時の大人はよく子どもたちにかかわってくれたなあ・と思います。

親でも教師でもない近所のおっちゃん、おばちゃんが一生懸命になっているその「瞳」は今も覚えています。

あらためて、今の自分に聞きたいです。「おまえは輝く瞳を持っているか、人生楽しんでいるか?」・・・と。

生徒の名言

★最近、繰り返しとばが気になるんですよね? ばけばけ・・・ハンバートハンバート・・・どれでもどれでも・・・リンダリンダ・・・(笑) (3年)

「地域に相談して大人...?」と回答した生徒...98%で!! (学校評価アンケート)



新。ポスター創作ありがとう！

法中を

喝采溢れる
学校に

二年生 前田早希さん：作